

ResetLaunch 取扱説明書

第 1 版

開発・著作者 結城あすか

目次

◆ 1. このソフトは……◆	2
◆ 2. 動作環境◆	2
◆ 3. インストール方法◆	2
◆ 4. 起動画面◆	3
◆ 5. 動作設定画面◆	4
◆ 6. アプリ登録画面◆	6
◆ 7. 使用条件、連絡先等◆	9
◆ 8. 開発環境◆	10
◆ 9. 更新履歴◆	10

◆ 1. このソフトは……◆

あなたが今日のお昼に食べたランチのカロリー増加をリセットするダイエット用アプリケーション……ではありません。任意のアプリケーションを登録して起動を行うための一種のアプリケーション・ランチャーです。

ただ、通常アプリケーション・ランチャーのように、よく用いるソフトを登録しておいて起動の手間を簡単にする目的のものではありません。

何らかの都合でよく用いるソフトだけど、フリーズしやすいとかソフト自体の不具合や使用条件の特殊性などから、頻繁にプロセスを殺したり、再起動を行ったりすることがあるかもしれません。

そういう時に、いちいちタスクマネージャーを立ち上げてプロセスを探したり、プロセスの停止を待ってからスタートメニュー等から再起動をかけたりというのはちょっと面倒です。

そこで、そういうソフトを登録しておいて、いざというときに簡単にプロセスを殺したり、一発で再起動かけたりする……というのか、この **ResetLaunch** の目的です。

◆ 2. 動作環境◆

OS : Microsoft Windows 7 以降

.NET Framework 4.52

PC : 上記 OS 環境が動作するマシン

メモリ : OS と使用するアプリケーションが十分に動作する容量

ストレージ : 常識的な空き容量を有すること

(32GB 以下のストレージの PC やタブレットでの動作は保証しません)

動作モード : デスクトップモード

◆ 3. インストール方法◆

任意のフォルダを作成し、**ResetLaunch.exe** を置いてください。このファイルを実行することで起動します。

スタートメニューへの登録等が必要な場合は手動で行ってください。

アンインストール時はインストール時に作成したフォルダ内のファイルを削除してください。(環境設定やアプリ登録のデータファイルが作成されています)

スタートメニュー等は各自で削除してください。

◆ 4. 起動画面 ◆



コンボボックスのリストメニューで登録済みのアプリを選択し、起動／停止／再起動の操作を行います。
(初期状態ではアプリは登録されていません。最初に登録を行ってください)

「起動」 ……

アプリの起動を行います。本ソフトで停止／再起動を行う場合は必ず最初にここで起動してください。外部で起動したアプリについてはいっさい関与しません。

「停止」 ……

起動中のアプリを停止します。アプリに対して終了イベントを発行するのではなく、プロセスの停止を行います。保存されていないデータ等は失われる場合があるので注意してください。

「再起動」 ……

起動中のアプリを停止し、自動的に再起動します。

即時再起動 ……

アプリ登録時の設定に関わらず、停止後にすぐ再起動を行います。

指定時間待ち ……

停止後、アプリ登録時に設定した待ち時間の経過後に再起動を行います。

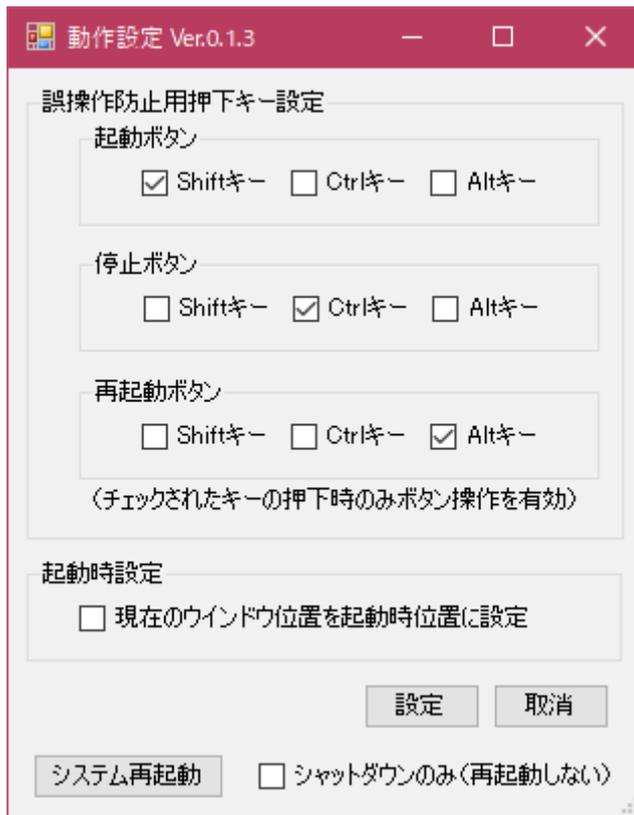
「アプリ登録」 ……

本ソフトで操作を行うアプリケーションの登録画面を開きます。

「動作設定」 ……

本ソフトの動作に関する動作設定画面を開きます。

◆ 5. 動作設定画面 ◆



この画面のタイトルにアプリのバージョンが表示されます。

「誤操作防止用押下キー設定」 ……

誤操作の防止用にボタンクリック時に押下するキーの設定を行うことができます。「起動」「停止」「再起動」それぞれのボタンに対し、チェックが付いているキーが押されていない限り、ボタンクリックは有効になりません。(デフォルトではチェックは付いていません)

「起動時設定」

現在のウインドウ位置を起動時位置に設定 ……

ここが選択されているとその時点での起動画面の位置を記憶し、次回以降の起動時位置に反映します。未選択なら起動画面が開く位置は **Windows** のデフォルトの動作に従います。設定ボタンによりその時の状態に更新されるので注意してください。

「設定」「取消」 ……

設定内容を保存または破棄して動作設定画面を終了します。

「システム再起動」 ……

Windows を再起動します。タスクバーが固まっていたりして通常のシャットダウン動作が行えない場合の緊急用です。システム自体が不安定な場合は動作しないことがあります。

シャットダウンのみ（再起動しない） ……

PCを冷やすために時間を置きたい、ハードウェアの接続を変更したい等、すぐにシステムを再起動したくない場合に指定してください。シャットダウン（電源断）のみが行われます。

◆ 6. アプリ登録画面◆

ID	登録名	再起動時間	強制終了	動作状態
1	Win青海	30	False	未使用

新規
編集
削除

アプリ登録名(表示用)
[Input Field]

アプリ実行ファイル(フルパス)
[Input Field] 参照

パラメーター(アプリ実行時のコマンドラインオプション)
[Input Field]

再起動待ち時間(秒)
[Input Field]

強制停止を行う(アプリの終了確認を抑制)

登録

保存 取消

画面の上部に登録済みのアプリの一覧が表示されます。

「新規」 ……

新規のアプリ情報を編集します。

「編集」 ……

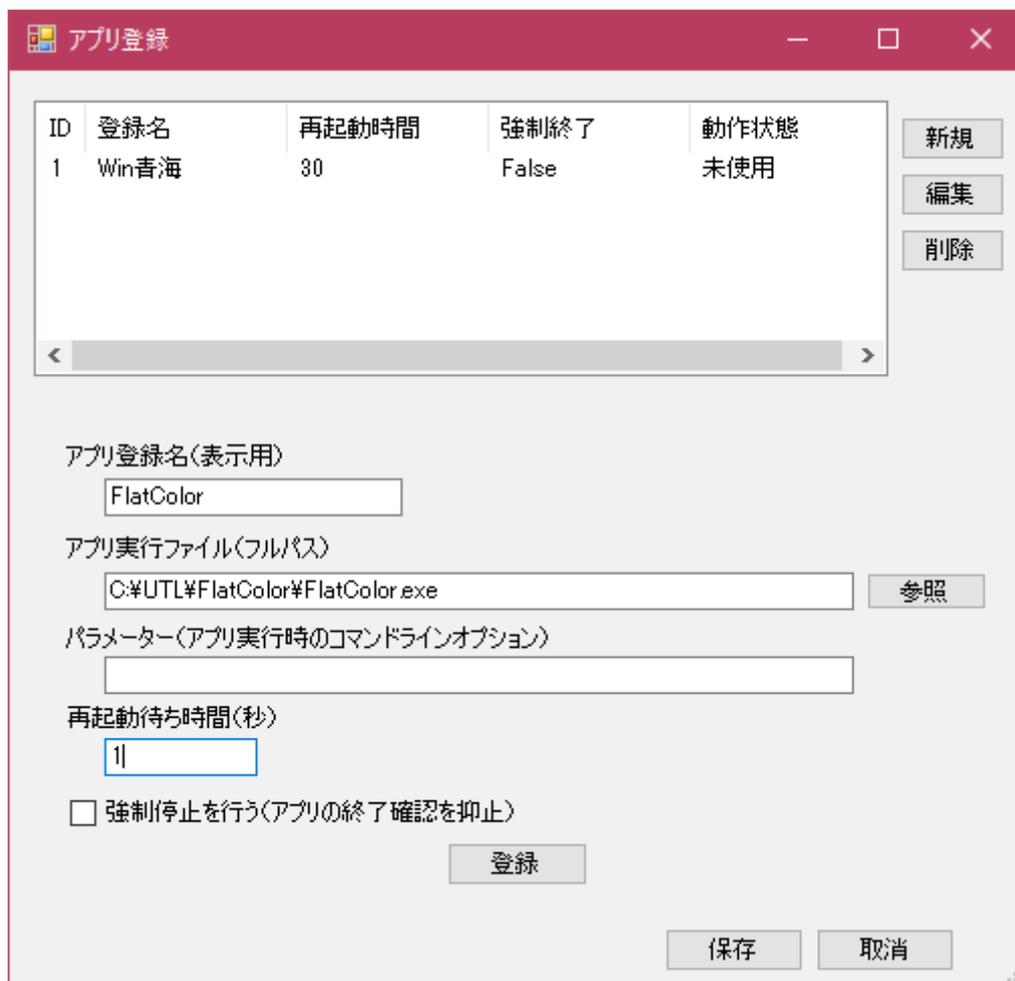
登録済みアプリの一覧から選択したアプリ情報を編集します。

「削除」 ……

登録済みアプリの一覧から選択したアプリ情報を削除します。

「保存」「取消」 ……

編集結果を保存または破棄してアプリ登録画面を終了します。



「新規」または「編集」を選択した場合、画面下部のアプリ情報の詳細編集機能が有効になります。

「アプリ登録名（表示用）」……

起動画面のコンボボックスに表示されるアプリの名前です。自分でわかりやすい名前を付けてください。

「アプリ実行ファイル（フルパス）」……

登録するアプリケーションの実行ファイル名をフルパスで設定します。「参照」ボタンでファイルダイアログが開くので、通常はそこから実行ファイルを探してください。

基本的に登録するアプリはデスクトップ用アプリケーションを想定しています。ストアアプリを直接登録しても動作しません。

バッチファイル等を登録した場合はアプリのプロセスを直接制御することは出来ないで正しい処理は行えません。起動プロセスが別の実行プロセスを起動するだけで、その管理を行っていないようなアプリも同様です。

「パラメーター（アプリ実行時のコマンドラインオプション）」……

アプリに実行時パラメーターが必要な場合に設定します。不要な場合は何も設定しないでください。

「再起動待ち時間（秒）」……

再起動操作時に、アプリの停止後、再起動を行うまでの待ち時間を秒単位で任意に設定できます。設定可能時間は0～3600秒です。

「強制停止を行う（アプリの終了確認を抑止）」……

アプリの停止時にプロセスの終了確認を行うかどうかの設定です。アプリ自体の終了確認を行うわけではありません。プロセスがなかなか終了しないアプリの再起動を早くしたい場合に有効ですが、システムに過去のプロセスが残ったままになる可能性もあります。

「登録」……

編集したアプリ情報をアプリの一覧に登録します。登録を行わずにアプリの選択を変更したり、保存／取消でこの画面を終了した場合、編集内容は失われます。

◆ 7. 使用条件、連絡先等 ◆

・当ソフトの著作権は作者（結城あすか）が有します。

・当ソフトはフリーソフトとします。（PC環境のセッティングやメンテナンスを行うサービス業など）営利目的の業務に直接用いる用途以外に限り、個人で自由に使っていただいてもかまいません。

・金銭の授受を目的としない限り、私的な交換や個人サイト等での再配布は自由です。ただし、アーカイブの改変は行なわないでください。雑誌や企業サイト等でご紹介くださる場合は、ご面倒ですがご一報ください。

・当ソフトは無保証です。使用によっていかなる被害が生じても作者は責任を負いません。

・ソフトへの感想、要望、バグ報告など作者まで連絡ください。

email : magicalpass@nifty.com

Twitter : @pixytale

・また、次の **Web** サイトにて自作ソフトの紹介やオンラインマニュアルの掲載を行っています。（サイドメニューの「あすか研究所」からソフトウェアのページに入れます） なお、近年の更新はほとんどしてません。

結城あすかのマジカルパス

(<http://magicalpass.no.coocan.jp/>)

◆ 8. 開発環境 ◆

PC : Gateway SX2865-N54F

CPU : Intel Core i5-3470

RAM : 8.0GB

GPU : NVIDIA GeForce GT 720 (2.0GB)

OS : Microsoft Windows 10 Home (64bit)

開発言語 : Microsoft Visual C# 2017

(Microsoft Visual Studio Community 2017)

文書作成 : LibreOffice Writer

◆ 9. 更新履歴 ◆

Ver.0.1.0 新規作成 (2017/4/11)

Ver.0.1.1 起動時位置指定機能の追加 (2017/4/21)

Ver.0.1.2 アプリ自体で終了処理を行った等でプロセス異常で終了・再起動が失敗した時にアプリ状態を初期化する処理を追加 (2017/6/3)

Ver.0.1.3 動作設定画面にシステム再起動ボタンの追加 (2017/7/28)

Ver.1.0.0 公開用 (2017/9/8)